

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 熊本県宇城市

本事業の担当部局名 福祉部子どもセンター

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	一般メニュー						
関連事業メニュー	1.1.4 結婚支援事業者との官民連携型結婚支援						
個別事業名	宇城市結婚応援事業					新規／継続 (一般財源での実施も含む)	新規
実施期間	令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	令和8年度
総事業費(A)(円)	490,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	490,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	490,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	150,000	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	150,000	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	340,000	0	0	0		490,000
	対象経費支出予定額	340,000	0	0	0		490,000
対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 過年度に引き続き、15歳～34歳の若年層における市外流出で婚姻件数や婚姻率の低下に歯止めをかけるべく、市内在住20～30代の未婚の男女に対し、伴走型の恋愛支援を行う予定。結婚前の恋愛の段階で伴走型支援を取り入れることで結婚意欲の向上及び結婚後も引き続き市内定住に誘導することで人口流出及び出生数の増加を図る。 また、結婚・妊娠・子育ての相談機会提供・支援プログラムを実施し、経済的不安から結婚に踏み切れない層に対して補助を行う。</p> <p><本個別事業の位置付け> 結婚を希望する者に対する伴走型の支援として個別相談や婚活イベント参加後のフォローアップを行っていく。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	婚活伴走支援プログラム	<p>現在婚活中で、婚活イベントへの参加やマッチングアプリ、結婚相談所の活用などを行っている独身男女及びその両親に対し、婚活コーディネーターによる個別相談会及びLINE相談の機会を設ける。委託により実施する内容は下記のとおり。</p> <p>○個別相談会 ・開催回数:年4回程度 ・1回当たりの相談人数:1～3人(相談の形式は1対1) ・1回当たりの相談時間:1人当たり60分程度 ・相談内容:相談者の婚活の状況整理、イベント等でのマッチング後のデートの振り返りなど</p> <p>○LINE相談 ・参加条件:対面相談会に参加した人のみ(LINE相談のみは受け付けない) ・相談期間:事業開始から1年間(事業期間内に限定する必要がある場合はその期間) ・相談頻度:相談者からの頻度に制限は設けませんが、サポーターからの返信は原則1日1回のみ ・相談内容:現在の気持ちの整理やデート前の不安解消、SNS等を使った連絡の際のメッセージ文章の添削など、軽い相談に限定</p> <p>○周知・広報について 市ホームページ、広報紙及びSNSや市主催イベントなどでのチラシ配布</p>				
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)></p>							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		人	1.62 (R5～R9年)	1.62 (H30～R4年)
	支給世帯件数		件	11 (R8年度)	21 (R6年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.62 (H30～R4)	
	婚姻件数		件	160 (R6年度)	
	婚姻率			2.86 (R6年度)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	参加者の人数	人	10 (R8年度)	0 (R7年度)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R8年度)	0 (R7年度)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80 (R8年度)	0 (R7年度)
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80 (R8年度)	0 (R7年度)
	④				
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					